



# 学校だより【第2号】

令和2年6月1日発行 横浜市立中和田中学校 校長 山 義明

**学校教育目標 自ら学び、自他を大切にして、社会に貢献する生徒を育てます**

学校の中の花々は季節の移ろいとともには咲き、スダジイの木も芽吹き、よい季節になりました。本来ならば生徒の様子を学校だよりで紹介するところですが、それができません。

4月の学校だより「今年度の始まりは、例年とは違いますが、制約がある中でできることを少しずつ進めて参ります。」と書きました。それからほぼ2か月、生徒の皆さんは家でどのように過ごしていたでしょう。



昨年度の学校評価の質問で「学校生活は充実している」について生徒の皆さんの回答で「そう思う」「ややそう思う」が合わせて94%でした。とても高い満足度だと思います。そのことを考えると、いつも当然のこととして行っていたこと～学校に通う、友達に会う、勉強する、体育祭の練習をする、部活動をする～といった学校生活がなくなっていたことは皆さんにとって、たいへんつらかったのではないかと思います。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大という今までに経験したことがない、相手が見えない、収束の見通しが立たないなど大人の私たちでも戸惑いや不安があります。

今はこのような状況ですが、4月の学校だよりにも書いた通り、改めて次の点に力を入れていきます。

『生徒がバランスよく学び、楽しく安心して過ごせる教育環境作り』

そのためには、皆さんが少しでも戸惑うことや不安に感じていることがあったら、どうぞ話してください。どうぞ訴えてください。私たち大人も皆さんと同じように戸惑いや不安があります。それを認めて支え合う姿勢をもって生徒の皆さんとがんばりたいと思います。学校教育目標にある「自他を大切にして」いくときです。

過日、新聞に次のような言葉が載っていました。「したいことはあきらめずに。すべきことはあせらずに。できることはくらずに。」(広島市中区超覚寺住職 和田 隆恩さん) この意味を考えながら私自身行動し、生徒の皆さんを全力で支えていきます。

